

東京都公立大学法人 第三期中期目標期間 業務実績評価結果

(第三期中期目標期間：平成29年度から令和4年度まで)

1 評価制度の概要

- 東京都公立大学法人（以下「法人」という。）の中期目標期間における業務実績については、知事の附属機関である東京都地方独立行政法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）による評価を受け、知事は評価委員会からの報告を受けることとなっています。
- 評価委員会は、大野高裕氏（早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授）を委員長とし、計24名の外部有識者で構成しています。法人については、委員長の氏を分科会長とする公立大学分科会で評価を実施しました。

2 評価方針と手順

- 中期計画の実施状況等に基づき、中期目標の達成状況を確認すること、法人の業務運営の改善・向上に資することなどを評価方針とし、法人から提出された業務実績等報告書を基に、法人に対するヒアリング等を実施し、評価を行いました。

3 評価結果の概要

- 評価は、「項目別評価」と「全体評価」とで実施しました。
- 項目別評価は、「教育」「研究」「社会貢献」「グローバル化」「業務運営」など第三期中期計画の計35項目について5段階で評価し、3項目を最上位の「1」と評定しました。
- 全体評価は、項目別評価の結果を踏まえつつ、中期目標の達成状況について評価し、「着実な業務の達成状況にある」と評価しました。

(1) 項目別評価（35項目）

評定1（中期目標の達成状況が極めて良好である）・・・3項目

- 【東京都立大学】教育の実施体制
- 【東京都立産業技術大学院大学】入学者選抜
- 【東京都立産業技術高等専門学校】教育内容及び教育の成果

評定2（中期目標の達成状況が良好である）・・・12項目

- 【東京都立大学】教育内容及び教育の成果、研究水準及び研究の成果
社会貢献
- 【東京都立産業技術大学院大学】教育内容及び教育の成果、教育の実施体制
社会貢献、グローバル化
- 【東京都立産業技術高等専門学校】学生への支援、入学者選抜、
グローバル化
- 【法人運営全般】事務の効率化・合理化

評定3（中期目標の達成状況が概ね良好である）・・・20項目

評定4（中期目標の達成状況がやや不十分である）・・・なし

評定5（中期目標の達成状況が不十分であり、法人の組織、業務等に見直しが必要である）・・・なし

(2) 全体評価

ア 総評

第三期中期計画に掲げた多岐にわたる取組を精力的に実行し、確かな成果を上げており、着実な業務の達成状況にある。

○ 優れた点・特色ある点

【東京都立大学】

- ・ 博士後期課程学生への支援の拡充等、若手研究者の育成に向けた多様な取組を展開

【東京都立産業技術大学院大学】

- ・ 効果的な入試広報活動により、第三期中期目標期間当初約1倍だった志願倍率が2.1倍まで上昇

【東京都立産業技術高等専門学校】

- ・ 情報セキュリティと航空の2つの技術者育成プログラムを軌道に乗せ、専門的技術を持つ人材を産業界に輩出

○ 更なる充実が期待される点

【法人運営全般】

- ・ コロナ禍における学生への経済支援で構築した卒業生との関係を活かした寄附金の確保・拡大に向けた取組の継続
- ・ 入試問題漏えいや火災等の事件・事故を繰り返さぬよう、再発防止に向けた取組の定期点検や風化防止等を徹底

イ 第四期中期目標期間に向けた課題及び法人への要望など

- 2大学1高専の特色や魅力を引き出すプロジェクトをより戦略的に推進し、その成果を効果的に発信することで、プレゼンスを一層向上させていくことを期待
- 東京で活躍する多種多様な主体と連携し、都政課題と2大学1高専の専門的知見とを結びつけ、新たな価値の創造に取り組んでいくことを期待